

賛助会員

【法人賛助会員】	東工株式会社	横浜ビルシステム株式会社
株式会社アクトエンジニアリング	株式会社日建設計	株式会社ワイイーシーソリューションズ
アズビル株式会社	日成工事株式会社	匿名：2社
学校法人岩崎学園	日生商工株式会社	【永年個人賛助会員】
株式会社ヴォートル	日総ブレイン株式会社	川村恒明
株式会社エス・シー・アライアンス	日本発条株式会社	小山明枝
株式会社NHKアート	株式会社野毛印刷社	【個人賛助会員】
鹿島建設株式会社横浜支店	パナソニックEWエンジニアリング株式会社	味田健一
株式会社勝烈庵	Piascore 株式会社	小川浩
一般財団法人神奈川県教育福祉振興会	平安堂薬局	黒瀬博晴
株式会社神奈川孔文社	株式会社ホテル、ニューグランド	桑原明子
株式会社神奈川保健事業社	一般社団法人本牧関連産業振興協会	鈴木真由美
神谷コーポレーション株式会社	丸茂電機株式会社	高岡俊之
川本工業株式会社	三沢電機株式会社	高野伊久男
株式会社共栄社	森平舞台機構株式会社	中澤守正
株式会社KSP	ヤマハサウンドシステム株式会社	橋本尚子
株式会社合同通信	株式会社有隣堂	匿名：5名
株式会社シグマコミュニケーションズ	株式会社豊商会	
株式会社ジェイコム湘南・神奈川	株式会社ユニコーン	
株式会社清光社	株式会社横浜アーチスト	
月島機械株式会社	横浜信用金庫	
株式会社テレビ神奈川	弁護士法人横浜パートナー法律事務所	

協賛・協力

【能舞台協賛】	株式会社アートのフロントギャラリー
ナイス株式会社	アクセントアーツ 芸術部 / Accenture Art Salon
【個別協賛】	リコー社会貢献クラブ・FreeWill
株式会社アートフロントギャラリー	株式会社ルーク
アクセントアーツ 芸術部 / Accenture Art Salon	匿名：1社
リコー社会貢献クラブ・FreeWill	【協力】
株式会社ルーク	株式会社崎陽軒
匿名：1社	株式会社富士住建
【一般寄付金】	
匿名：1名	

オンライン小口寄付においても多数の方からご支援いただきました。

# Kanagawa Arts Foundation Annual Report

# 2022

## 公益財団法人神奈川県芸術文化財団 2022年度 年次報告書

### ご寄付のお願い

神奈川県芸術文化財団は、芸術文化の力で、地域に生きる人々の心を豊かにし、幸福な社会の実現に貢献します。  
広く皆さまのご支援・お力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 賛助会員

- 【法人】法人賛助会員 一口・年間：10万円  
特別賛助会員 一口・年間：100万円
- 【個人】個人賛助会員 一口・年間：3万円  
永年個人賛助会員（満65歳以上） 一口：30万円

その他、当財団が主催する個別の事業へのご寄付もお受けしております。  
詳細はお問い合わせください。

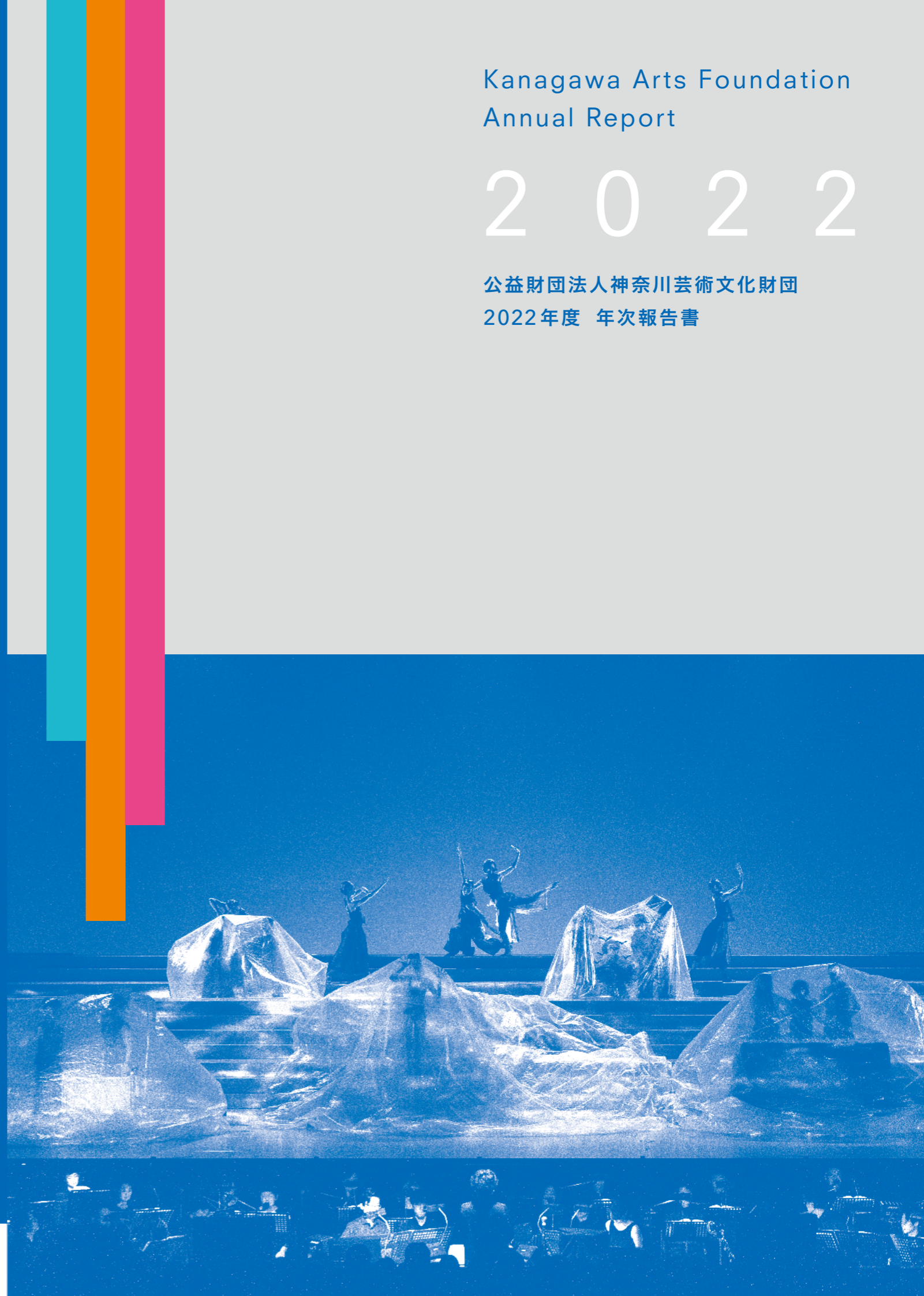
※当財団への寄付は税制上の優遇措置がございます。

#### 賛助会員の主な特典

- 当財団のウェブサイト、情報誌「神奈川県芸術プレス」にご芳名を掲載します。
- 選定した主催公演にご招待します。
- 当財団の主催公演のチケットを10%引きでご購入いただけます。
- 限定イベントにご招待します。
- 当財団の情報誌「神奈川県芸術プレス」(年2回発行)をお送りします。
- 最新のチケット情報をメールマガジンでお届けします。

#### 問い合わせ・資料請求

公益財団法人神奈川県芸術文化財団 経営企画課 寄付・賛助会員担当 〒231-0023 横浜市中区山下町3-1 神奈川県民ホール内  
TEL:045-633-3760 (9:00~17:00 / 土・日・祝日・年末年始を除く) メール: shien@kanagawa-af.org

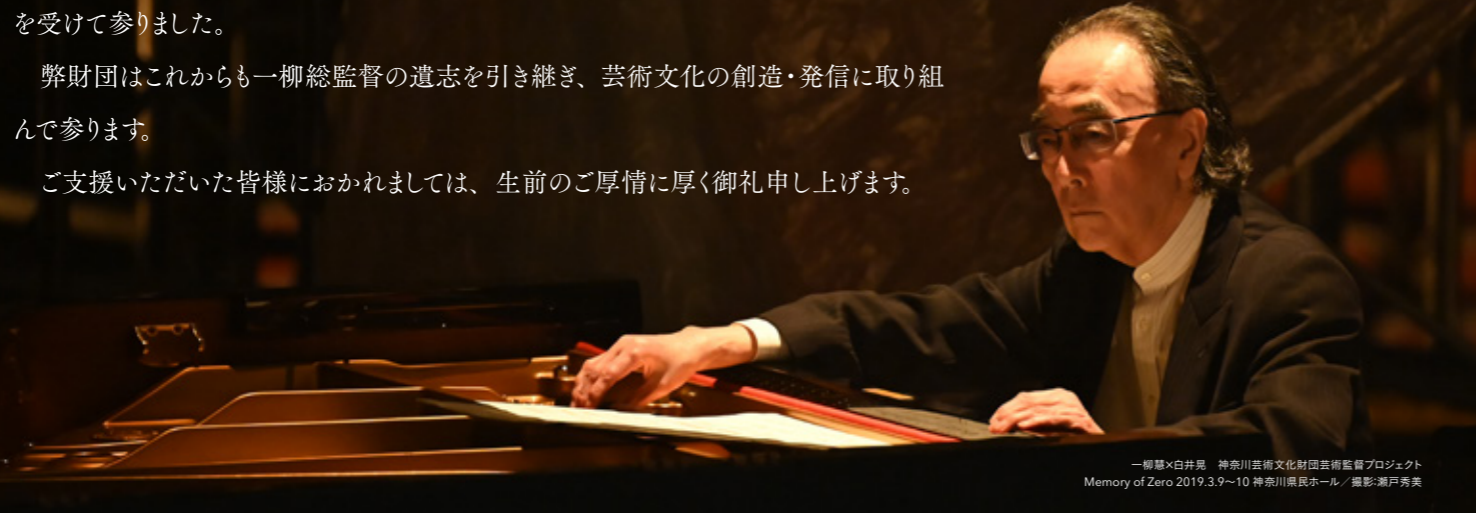


## いちやなぎとし 一柳慧芸術総監督の逝去にあたって

神奈川県芸術文化財団芸術総監督一柳慧は戦後を代表する作曲家としてその確固たる地位を築き、弊財団では1996年から2021年6月まで理事を務め、2000年より2022年10月に亡くなるまで芸術総監督として音楽はもとより美術、ダンス等芸術文化全般の創造に尽力いたしました。「時代や社会を問う新しい作品を、神奈川県から発信し続けること」「従来の芸術ジャンルの枠組みを超えるような作品の創造に挑戦すること」をテーマに据え、自らも常に情熱的に新しいことに果敢に挑戦する姿に、職員一同薫陶を受けて参りました。

弊財団はこれからも一柳総監督の遺志を引き継ぎ、芸術文化の創造・発信に取り組んで参ります。

ご支援いただいた皆様におかれましては、生前のご厚情に厚く御礼申し上げます。



一柳慧×白井晃 神奈川県芸術文化財団芸術監督プロジェクト  
Memory of Zero 2019.3.9-10 神奈川県民ホール / 撮影:瀬戸秀美

### 神奈川県芸術文化財団について・2022年度の活動

- 理念**
- 私たちは、その想像力と創造性を活用し、芸術文化の価値を高めます。
  - 私たちは、芸術文化の力で、地域に生きる人々の心を豊かにし、幸福な社会の実現に貢献します。

- 4つのミッション**
- 創造に挑む
  - 感動を分かち合う
  - つねに考える
  - 未来につなぐ

1993年に設立した当財団は、芸術文化の創造と普及を県立文化施設（神奈川県民ホール・KAAT 神奈川県芸術劇場・神奈川県立音楽堂）の運営と一体的に行うことにより、身近で質の高い芸術鑑賞の機会を提供するとともに、神奈川県から新たな芸術文化を創造・発信することを目的に活動を継続してまいりました。

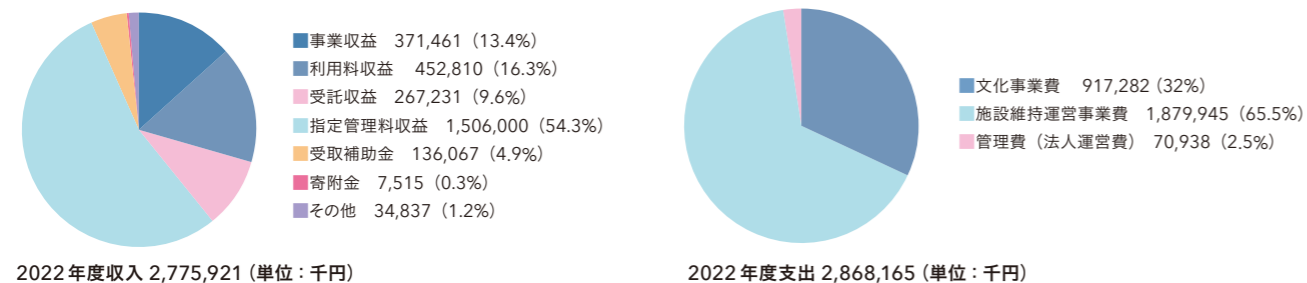
2019年には、私たちが今後も継続して芸術文化の創造と振興に更なる力を発揮していくために、めざすべき姿を描き定め、上記のように「理念」と「ミッション」を定めました。

このミッションに基づき2022年度は50事業193演目（企画）434公演（回）の自主事業（主催・共催・提携公演）を実施し、3館の合計で128,654名の方にご来場・ご参加いただきました。2021年度に立ち上げた「社会連携ポータル部門」は、3館の主催事業において鑑賞サポートや人材育成等の取り組みで数々の実績をあげ、改めて社会課題における芸術文化の必要性を認識いたしました。今後もあらゆる人々が芸術文化に親しめるよう、なお一層力を入れて取り組んで参ります。

#### 【2022年度ご支援の実績】

法人賛助会員 47社 / 個人賛助会員 16名 / 永年個人賛助会員 2名 / 個別事業への協賛 7社 / 一般寄付 1名  
その他、オンライン小口寄付、など数々のご支援をいただきました。

#### 【2022年度収支内訳】



## ごあいさつ



たまむらかずみ  
玉村和己

公益財団法人神奈川県芸術文化財団  
理事長

日頃より、神奈川県芸術文化財団にご支援を賜り心より御礼申し上げます。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症から以前の活気を取り戻し、神奈川県民ホール、KAAT 神奈川県芸術劇場、神奈川県立音楽堂の3館を安全に運営し多種多様な事業を実施いたしました。また県民の皆様の発表や活動の場としてもご利用いただくなど、芸術文化を育む場として本来の輝きを取り戻し始めたことを実感した1年となりました。皆様からいただいた尊いご寄付・ご支援は、芸術文化事業に大切に使用させていただき、おかげさまで数々の高い評価を受けることができました。改めて厚く御礼申し上げます。

一方、芸術総監督として20年以上にわたり弊財団を導かれた一柳慧氏が逝去されたことは私共にとって大きな喪失でした。一柳総監督の教えを胸に、今後もなお一層魅力ある事業の実施に取り組んで参る所存でございます。

今後とも弊財団へご支援ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



ながつかけいし  
長塚圭史

KAAT 神奈川県芸術劇場  
芸術監督

いつも多大なるご支援ご協力誠にありがとうございます。

KAAT 神奈川県芸術劇場は、神奈川県内の公共劇場として、毎年数多くの作品を企画制作し、最前線で活躍するアーティストの方々の手によって創作を行い、芸術文化の創造発信とそれを担う人材の育成に取り組む国内屈指の劇場です。この公共劇場という創造性に溢れた豊かな場所を、より多くの県民の皆様、地域の皆様を知っていただきたいという思いから、劇場を「ひらく」ことを大きく掲げ、様々な活動を実施しております。

2022年春には、2016年より継続してきました現代美術と劇場のコラボレーション、KAAT EXHIBITIONを、初めて玄関口の広場アトリウムで開催しました。社会と劇場の境界でもあり、誰もが気軽に鑑賞できる場所で展開したインスタレーションは、そこで行われたダンスパフォーマンス等と共に、舞台上に触れることの少ない方々にも劇場やアートを体験していただく機会となりました。

秋からのメインシーズンでは、そのタイトルを忘却の「忘(ぼう)」と掲げました。劇場は皆さんをいつきの夢の中に誘い、現実を忘れ、明日への活力を得る滋養の場でもあり

ます。あるいは忘れてはいけないことを改めて見つめ直し、自分たちの今立っている現在を知るための場ともなります。このように「忘」という言葉から想像を膨らませ様々な作品を創作上演し、大変ご好評をいただきました。

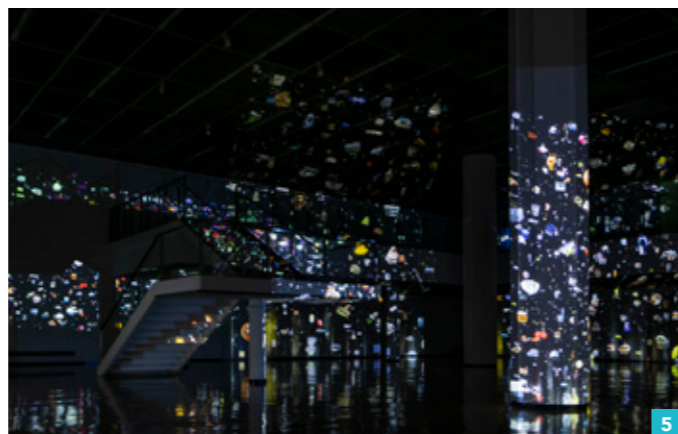
そして、アーティストがアイデアを育て実験する場を提供する事業「カイハツ」は、手探りながらも、国内外より参加したアーティストから大きな反響をいただいています。新しい創造の種が育まれるよう、カイハツの輪も一層広げていきたいと考えています。

ご支援くださる皆様に、こうした劇場の活動をより深く知っていただけるよう取り組み、どのような期待を抱いてご支援して下さっているのか、そのお声をお聞きし、お力添えをどう役立てていくのかを明らかにしてまいります。

私共が運営する3館の運営は、チケット収入だけではなく、県からの指定管理料、各種助成金、そして皆様からのご支援によって成り立っています。社会のかたちが急激に変わりつつある今、皆様のご支援はかけがえのないものです。支援して下さる皆様と心を尽くして対話し、そして更に多くの支援者の方々との出会いを重ねていきたいと願っております。皆様と劇場でお会いすることを心より楽しみにしております。

# 神奈川県民ホール

開館日 — 1975年1月17日  
施設概要 — 大ホール (定員2,493人)  
小ホール (定員433人)  
ギャラリー (第1～5展示室)  
大・小会議室  
住所 — 神奈川県横浜市中区山下町3-1



1 神奈川県民ホール開館50周年記念オペラシリーズVol.1 ロバート・ウィルソン/フィリップ・グラス「浜辺のアインシュタイン」撮影:加藤 甫 / 2 オープンシアター 2022 チャイコフスキー 3大バレエの世界へようこそ! 撮影:川島浩之 / 3 オープンシアター 2022 くらべてみよう!オルガンとピアノのちがいを 撮影:岩田えり / 4 オープンシアター 2022 ワクワク体験 いろんな素材くっつけてみよう! 撮影:岩田えり / 5 企画展「ドリーム/ランド」撮影:木暮伸也 / 6 C×Organ オルガン avec バロック・アンサンブル 撮影:林 喜代種 / 7 C×Baroque 大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol.2 撮影:ヒダキトモコ / 8 ファンタスティック・ガラコンサート2022 ～愛の花束～ 撮影:長谷川清徳 / 9 みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」撮影:岡野員由美 / 10 C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 Vol.3 山根明季子×ジョン・ケージ[生誕110年、没後30年] 撮影:藤本史昭 / 11 C×Organ オルガンクリスマスコンサート / 12 舞台芸術講座 一柳慧とは何者か。～Toshi 伝説2～ 撮影:渡邊伶奈

# 神奈川県民ホール

## 2022年度主催事業一覧

### ミッション「創造に挑む」

C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 Vol.3 山根明季子×ジョン・ケージ [生誕110年、没後30年]	2022年9月10日
神奈川県民ホール開館50周年記念オペラシリーズ Vol.1 ロバート・ウィルソン／フィリップ・グラス「浜辺のアインシュタイン」※日本ミュージック・ペンクラブ賞 現代音楽部門受賞	2022年10月8日～9日
ロバート・ウィルソン／フィリップ・グラス「浜辺のアインシュタイン」関連企画 METライブビューイング フィリップ・グラス《アクナーテン》《サティアグラハ》上映会	2022年7月16日
企画展「ドリーム／ランド」	2022年12月18日～2023年1月28日
企画展「ドリーム／ランド」〈関連企画〉 ライブパフォーマンス	2023年1月9日、14日

### ミッション「感動を分かち合う」

C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ ロレンツォ・ギエルミ オルガン リサイタル	2022年6月12日
オープンシアター 2022 チャイコフスキー 3大バレエの世界へようこそ!	2022年8月20日
オープンシアター 2022 くらべてみよう!オルガンとピアノのちがひ	2022年8月20日
スターダンサーズ・バレエ団 Dance Speaks	2022年9月3日
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ オルガン クリスマス コンサート	2022年12月24日
ファンタスティック・ガラコンサート2022 ～愛の花束～	2022年12月29日
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ オルガン avec パロック・アンサンブル	2023年2月11日
C×Baroque 大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol.2	2023年3月25日
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ オルガン・プロムナード・コンサート vol.394～vol.399	通年
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ 視覚障がい者のためのオルガン・コンサート	2023年3月17日

### 〈県域巡回事業〉

みんなでのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」横浜公演(神奈川県民ホール)	2022年11月26日～27日
みんなでのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」寒川公演(寒川町民センター)	2022年12月3日
みんなでのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」相模原公演(もみじホール城山)	2023年1月22日
みんなでのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」鎌倉公演(鎌倉芸術館)	2023年3月12日

### ミッション「つねに考える」

第110回 舞台芸術講座 青島広志&萩尾望都の「少女マンガ音楽史!」	2022年8月27日
舞台芸術講座 「一柳慧とは何者か。」～Toshi 伝説2～	2023年2月4日

### ミッション「未来につなぐ」

#### 〈県民ホール人材育成事業〉

C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ 出演者オーディション	2022年8月3日
第57回神奈川県美術展 併催展 中高生特別企画展 ともしきアート展	2022年9月7日～10月2日
インターンシップ「公共ホールでの文化事業の実習」プログラム	2022年12月19日～2023年1月10日
劇場運営マネジメント講座①「これからのインクルーシブ社会と公立文化施設の取り組み」～『認知症を知る』	2023年2月22日
劇場運営マネジメント講座②「基本を学びなおす」～『白杖体験～見えない世界を歩く～』	2023年3月20日
東京音楽大学との連携事業「東京音楽大学 Act Project」	通年

## 2022年度の事業を振り返って

神奈川県民ホール 館長 眞野 純

2022年度は神奈川県民ホールにとって決意を新たに  
にする一年でした。

10月7日、約22年にわたり芸術総監督を務めて  
くださった一柳慧氏が亡くなりました。一柳氏が上演を  
望まれたオペラ「浜辺のアインシュタイン」公演前日のこ  
とです。この新演出上演に一柳総監督と私たちスタッ  
フは強い希望を込めていました。パンデミックや戦争  
により世界は大きく揺らいでいます。皆様の生活にも  
多大な影響を及ぼしたこれらの災禍は劇場・音楽堂に  
もさまざまな変化をもたらしています。経済的な切迫、  
人と人との結びつきの希薄化、どちらも運営の根幹に  
関わる事態です。しかし、そのような事態にあっても、  
私たちは難しいとされがちな現代オペラ創作の火を灯  
し続けようと考えました。皆様方の大きなご支援に支  
えられ、その成果は多くのお客様の拍手と、日本ミュ  
ジック・ペンクラブ賞の現代音楽部門受賞として報わ  
れました。改めて皆様に深謝申し上げるとともに、この  
公演を今後のホール運営における決意表明としてご理  
解いただければ幸いです。

もちろん、一柳総監督の挑戦の精神は他の事業を  
も貫いています。2021年度より立ち上げた室内楽シ  
リーズ「C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅」、オルガン  
アドバイザーの中田恵子さんによる「オルガンavec」シ  
リーズ、さらに美術部門では、多様な意味を持つ「ドリー  
ム(夢)」と空間性を表す「ランド」というテーマを7人の  
作家に問うた「ドリーム／ランド」展が、その表れです。  
また、お子様連れのためのオープンシアター、広く公演  
をお届けする県域巡回も行っています。日本語を母国  
語としない方のための多言語対応、視覚の不自由な方  
のための音声ガイド導入など、工夫を重ねています。

今後は芸術参与の沼野雄司氏に示唆をいただき、  
私たちは常に一柳総監督の遺志を汲み取りながら事  
業に挑み続けます。コロナ禍の終わりが実感され始め  
た昨今、多くのご来場を得て客席がにぎわい、拍手を  
送ってくださっている光景は私たちにとり至上のよろこび  
です。皆様に頂いたご支援にお応えし、ポストコロナ  
の新しい生活の中で、これからも皆様の心へ届く同時  
代感あふれるホール運営を目指して参ります。

# KAAT 神奈川芸術劇場

開館日 — 2011年1月11日  
 施設概要 — ホール (約1,200席)  
 大スタジオ (約220席)  
 中・小スタジオ (401㎡)  
 アトリエ (149㎡)  
 住所 — 神奈川県横浜市中区山下町281



1 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース ミュージカル『夜の女たち』\* 撮影:細野晋司 / 2 KAAT EXHIBITION 2022「鬼頭健吾展 | Lines」撮影:木暮伸也 / 3 KAAT キッズ・プログラム 2022『ククノチ テクテク マナツノ ポウケン』撮影:大洞博靖 / 4 KAAT キッズ・プログラム 2022『さいごの1つ前』撮影:宮川舞子 / 5 KAAT 古典芸能シリーズ 舞囃子『高砂』八段之舞 義太夫『源氏烏帽子折 伏見の里の段』撮影:引地信彦 / 6 『スカパン』\* 撮影:山田 毅 / 7 KAAT×城山羊の会『温暖化の秋 -hot autumn-』\* 撮影:益永 葉 / 8 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『ライカムで待って』\* 撮影:引地信彦 / 9 横浜国際舞台芸術ミーティング 2022 プラレヤン・ダンスカンパニー [LUNA] \* 撮影:前澤秀登 / 10 KAAT DANCE SERIES『星の王子さま -サン=テグジュペリからの手紙-』\* 撮影:宮川舞子 / 11 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『蜘蛛巣城』\* 撮影:引地信彦 / 12 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『掃除機』\* 撮影:加藤 甫  
 \*印=メインシーズン(忘)プログラム

# KAAT 神奈川芸術劇場

## 2022年度主催事業一覧

事業名	開催期間	会場
<b>ミッション「創造に挑む」</b>		
KAAT EXHIBITION 2022「鬼頭健吾展   Lines」	2022年5月1日～6月5日	
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース ミュージカル『夜の女たち』	2022年9月9日～19日	ほか 北九州、豊橋、山口、松本、兵庫公演
KAAT×城山羊の会『温暖化の秋 -hot autumn-』※第74回読売文学賞 戯曲・シナリオ賞 受賞 受賞者：山内ケンジ	2022年11月13日～27日	
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『ライカムで待っとく』 ※第30回読売演劇大賞 優秀作品賞受賞 / 第67回岸田國士戯曲賞・第26回鶴屋南北戯曲賞 最終候補作品選出 選出者：兼島拓也	2022年11月30日～12月4日	
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『蜘蛛巣城』	2023年2月25日～3月12日	ほか 兵庫、枚方、山形公演
KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『掃除機』	2023年3月4日～22日	

## ミッション「感動を分かち合う」

事業名	開催期間	会場
KAAT EXHIBITION 2022「鬼頭健吾展   Lines」〈関連企画〉		
山本卓卓『オブジェクト・ストーリー』	2022年5月1日～6月5日	
ケダゴロ『『 세월』 クリエーション・ドキュメンタリー』	2022年5月7日	
近藤良平『新世界 solo』	2022年5月13日～14日	
小尻健太『Study for Self/portrait2022』	2022年5月20日～21日	
KAATキッズ・プログラム2022『ククノチ テクテク マナツノ ポウケン』	2022年7月20日～24日	ほか 久留米、豊橋公演
KAATキッズ・プログラム2022『ククノチ テクテク マナツノ ポウケン』関連企画 「いっしょにへんしん!お面づくり体験」	2022年7月20日～24日	
KAATキッズ・プログラム2022『さいごの1つ前』	2022年8月10日～21日	
KAATキッズ・プログラム2022『さいごの1つ前』関連企画 「作品の1シーンを一緒につくろう!」無料創作ワークショップ	2022年6月12日	
『スカパン』	2022年10月26日～30日	
<b>〈KAAT フレンドシッププログラム〉</b>		
「みんなのKAAT バックステージツアー」	計18回実施	
「スクランブル・ダンスプロジェクト ver. LAND FES DIVERSITY」	2022年12月17日～18日	
木ノ下歌舞伎「超・初心者古典芸能講座」聴覚サポート ver.	2022年12月24日	
「横浜中華街 春節祭2023 ランタンオブジェ展示」	2023年1月19日～2月8日	
「星の王子さまと旅することばの世界」	2023年1月21日～29日	

## ミッション「つねに考える」

KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース ミュージカル『夜の女たち』関連企画 特別映画上映会	2022年9月7日～9日、14日～16日
横浜国際舞台芸術ミーティング 2022 (YPAM2022)	2022年12月1日～18日
「カイハツ」一劇場が常に考える場、豊かな発想を生み出す場となることを目指し、クリエイションのアイデアをカイハツするプロジェクト	通年

## ミッション「未来につなぐ」

KAAT 古典芸能シリーズ つたえつなぐ 舞囃子『高砂』八段之舞 義太夫『源氏烏帽子折 伏見の里の段』	2022年10月15日
KAAT DANCE SERIES『星の王子さま -サン=テグジュペリからの手紙-』	2023年1月21日～29日 ほか びわ湖、広島、熊本公演
<b>〈人材育成事業〉</b>	
KAAT 人材育成事業 劇場運営インターン	2022年7月18日～24日
KAAT 舞台技術講座2022「制作者のための舞台技術講座」	2022年10月5日
視覚言語がつくる演劇のことば	2023年2月5日
KAAT 舞台技術講座特別編「劇場がサステナビリティ(持続可能性)を考える ～環境に優しい舞台芸術～ イギリス「シアター・グリーン・ブック」を学ぶ～	2023年3月15日
<b>〈教育普及事業〉</b>	
KAAT 教育機関連携 神奈川総合高校夏季集中講座 「応用舞台技術」	2022年7月26日～29日
KAAT 大学連携事業 KAAT×北海道教育大学・公立小松大学・静岡文化芸術大学「私たちの地域社会における共生をめざして」	2022年8月1日
KAAT 教育機関連携 神奈川総合高校舞台芸術科研修 1年次施設見学	2022年9月27日
地域創造「公共ホール創造ネットワーク事業」モデル事業 アウトリーチ「創造するカラダ」～美女と野獣と人魚姫～	県内の小学校6校にて実施

## 2022年度の事業を振り返って

KAAT 神奈川芸術劇場 副館長兼事業部長 堀内真人

3年前に突如世界を襲ったパンデミックはいくつもの波を越え、2023年春、ようやく収束を迎えつつあります。2022年度、KAAT 神奈川芸術劇場におきましては、幾度か上演の中止を余儀なくされる時もありましたが、全関係者の不断の努力、そして皆様のお力添えにより、多くのお客様を迎えることができました。心より御礼申し上げます。

2021年度より芸術監督を務める長塚圭史のもと、皆様により豊かに生きる力をお届けすることが出来るよう、芸術文化の創造発信と人材育成に取り組んでおります。劇場を「ひらいて」いくことを主眼としたプレシーズン、「忘」というタイトルから想起される作品をラインアップしたメインシーズンそれぞれに、社会の変化をみつめながら、ゆっくりとした歩みではありますが、少しずつ成果を積み上げております。

アトリウムで開催したKAAT EXHIBITIONはプレシーズンを華やかに彩り、キッズプログラムでは子どもたちの記憶に残る観劇体験を提供しました。

また、メインシーズンにおいては、『ライカムで待っとく』が、復帰50年を経てなお多くの基地を抱える沖縄の過去と現在そして未来を、同じく基地を擁する神奈川県を視野に入れながら描いて高い評価をいただき、読売演劇大賞優秀作品賞を受賞、兼島拓也氏の戯曲

は岸田國士戯曲賞、鶴屋南北戯曲賞にノミネートされ、また「温暖化の秋 -hot autumn-」は、コロナ禍に厭きた社会の気分をシニカルに描き、山内ケンジ氏の戯曲が読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞しました。

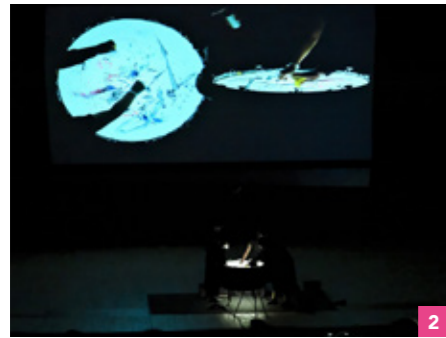
ほかにも、溝口健二監督の映画を元に長塚芸術監督の演出でミュージカルとして舞台化した『夜の女たち』や、8050問題を独特の視点で描いた『掃除機』など各作品は、広く注目を集め、日常とは違う観劇のよるこびと共に、いまを考える機会を県民の皆さんと共有しました。また、豊かな発想を生み出す場、次代を担う人材育成の場となることを目指す「カイハツ」や、障がいがある方へ鑑賞サポートの拡充にも引き続き取り組んでいます。そして、より多くの県民の皆様へ足を運んでいただくための取り組みとして、「神奈川県民割引」チケットを試行し大変好評をいただきました。次年度からは、これを全主催事業に広げてまいります。

世界は不透明感を増し、社会は大きな変動期を迎えています。KAAT 神奈川芸術劇場は、これからもこうした取り組みを通じて、時代を照らす灯火となるよう、より多くの皆様に多彩な芸術をお届けし生きる力となるべく、芸術文化の振興に取り組んでまいります。

どうぞ皆様のさらなるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 神奈川県立音楽堂

開館日 — 1954年11月4日  
 施設概要 — ホール(定員1,106人)  
 住所 — 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-2



1 音楽堂室内オペラ・プロジェクト 第5弾 ファビオ・ピオンディ指揮 エウローバ・ガランテ ヘンデル『シッラ』全3幕 日本初演 撮影ヒダキトモコ / 2 シリーズ「新しい視点」紅葉坂プロジェクト Vol.1 撮影ヒダキトモコ / 3 子どもと大人の音楽堂(子ども編) せかいほもだち! 撮影ヒダキトモコ / 4 シリーズ「新しい視点」ダブルポートレート・フォー・マリンバ・アンド・ザ・フューチャー 撮影ヒダキトモコ / 5 音楽堂ヘリテージ・コンサート スティーヴン・イッサーリス チェロリサイタル 撮影ヒダキトモコ / 6 第55回クリスマス音楽会ヘンデル『メサイア』全曲 撮影ヒダキトモコ / 7 紅葉坂プロジェクト Vol.2 ワークインプログレス 撮影ヒダキトモコ / 8 子どもと大人の音楽堂(大人編) 音楽堂のピクニック 撮影雨宮透貴 / 9 音楽堂のピクニック×ヘリテージ・コンサート(ディープ大人編) テリー・ライリースペシャルライブ 撮影雨宮透貴 / 10 音楽堂ヘリテージ・コンサート レ・ヴァン・フランセ 撮影ヒダキトモコ / 11 音楽堂アウトリーチ 厚木市立厚木第二小学校

## 2022年度主催事業一覧

### ミッション「創造に挑む」

シリーズ「新しい視点」紅葉坂プロジェクト Vol.1	2022年7月2日
シリーズ「新しい視点」ダブルポートレート・フォー・マリンバ・アンド・ザ・フューチャー	2022年7月10日
音楽堂室内オペラ・プロジェクト第5弾 ファビオ・ピオンディ指揮 エウローバ・ガランテ ヘンデル『シッラ』全3幕 日本初演	2022年10月29日～30日
音楽堂室内オペラ・プロジェクト第5弾 ファビオ・ピオンディ指揮 エウローバ・ガランテ ヘンデル『シッラ』関連プログラム レクチャー 「日本伝統芸能×オペラ」所作とgestualitàでひもとくバロック・オペラ」	2022年9月11日
シリーズ「新しい視点」紅葉坂プロジェクト Vol.2 ワークインプログレス	2023年2月28日

### ミッション「感動を分かち合う」

音楽堂ヘリテージ・コンサート スティーヴン・イッサーリス チェロ・リサイタル	2022年9月17日
音楽堂ヘリテージ・コンサート 音楽堂のピクニック×ヘリテージ・コンサート(ディープ大人編) テリー・ライリー スペシャルライブ	2023年3月4日
音楽堂ヘリテージ・コンサート レ・ヴァン・フランセ	2023年3月11日

## 2022年度 活動概要

### ミッション「つねに考える」

街なかトークカフェ イッサリスからたどる「ロシア音楽」 2022年8月25日

街なかトークカフェ フォルテピアノのひみつ 2022年9月13日

### ミッション「未来につなぐ」

神奈川県立音楽堂×神奈川フィルハーモニー管弦楽団 子どものための公開リハーサル 2022年7月9日、2023年1月7日

子どもと大人の音楽堂〈子ども編〉 せかいはともだち! 2022年8月6日

音楽堂室内オペラ・プロジェクト『シッラ』関連企画 「制作・広報インターン」 2022年9月6日～11月1日

第55回クリスマス音楽会 ヘンデル「メサイア」 全曲 2022年12月11日

子どもと大人の音楽堂〈大人編〉 音楽堂のピクニック 2023年3月4日

先生のためのアウトリーチ 県内の小学校にて5回実施

## 2022年度の事業を振り返って

神奈川県立音楽堂 館長 伊藤由貴子

2022年度は引き続きコロナ禍の下、主催・共催事業の実施に試行錯誤を重ねた日々でした。そんな中でも、音楽堂での芸術文化活動が再び活気を取り戻す方向へと舵を切れたのは、皆様にご支援をいただけたお陰です。改めて深く御礼申し上げます。

コロナ禍で大きな影響を被ったのが、音楽堂で永年愛されてきた合唱。その象徴ともいえるのがクリスマス音楽会「メサイア」でした。神奈川県合唱連盟のアマチュア合唱がプロの演奏家たちと共演して、55年の伝統をつないできたこの公演を、2年間の中断を経て復活できたことは大きな希望となりました。感染症対策としての舞台上の人数制限は課題でしたが、第一人者の指揮者の下、バロック音楽の魅力を感じさせる仕上がりとなりました。県内の高校生が参加する「メサイア未来プロジェクト」も復活し、大人たちと共に誇らしく歌う姿に大きな拍手が贈られました。

2年前、舞台稽古直前で中止となってしまったファビオ・ピオンディ指揮エウローパ・ガランテによるヘンデルのオペラ『シッラ』も、ようやく日本初演を迎えました。歌舞伎にインスパイアされた彌勒忠史氏の演出は聴衆の大喝采を浴び、専門家たちからも高評を得るこ

ととなりました。

一方、同じく2年前に断念した「クロノス・カルテット〜テリー・ライリー《サン・リングズ》」公演は、実施をめざすもカルテットの来日が不可能となり、再び中止。ただテリー・ライリー氏が日本在住のため出演可能となり、同氏の単独ライブを急遽企画。レジェンドの音楽世界をじっくりお聴きいただきました。

県域活動では、音楽堂が取り組んできたアウトリーチ事業の成果を教育現場に役立ててもらおうとする「先生のためのアウトリーチ」が本格化。プロの打楽器奏者や作曲家らによるワークショップを、音楽を教える小学校の先生方ご自身に体験していただき、日常の授業へのフィードバックとなることをめざしました。

本指定管理期に新たに開始した企画も2年目に入りました。「子どもと大人の音楽堂」〈子ども編〉では多文化共生をテーマに、獅子舞やサンバも登場。また〈大人編〉では、サウンドインスタレーション、ジャズなど多彩な分野が競演する新感覚のワンデイ・フェスティバルとなりました。創造性の萌芽を育てようとする「新しい視点」では、若き表現者たちの新鮮な企画が、音楽堂を舞台に展開しました。

## 社会連携ポータル事業 2022年度の取り組み

社会と芸術をつなぐ窓口＝ポータルとして、芸術文化をより多くの方の身近に、そしてもっと楽しんでいただくために、さまざまな取り組みを行っています。

### インクルーシブアプローチ

より多くの方々に芸術鑑賞の機会を提供できるよう、インクルーシブアプローチに取り組んでいます。視覚に障がいのある方へ点字パンフレットや音声解説、聴覚に障がいのある方へセリフをタブレットやメガネ型の機器に表示する字幕提供、難聴者の聞こえを支援するヒアリングループの設置、手話通訳などの鑑賞サポートを公演やイベントで行っています。また、よりリラックスした環境で鑑賞ができる上演スタイルも取り入れています。そしてNPO法人神奈川子ども未来ファンド、横浜市社会福祉協議会等を窓口、外国にルーツをもつ方、子育て・教育支援施設やこども食堂、里親子、母子家庭、高校生の奨学生から応募いただき、子どもと引率者やご家族あわせて95名を公演に招待しました。



神奈川県民ホール オープンシアター鑑賞サポート受付窓口



KAAT 神奈川芸術劇場 手話通訳付きバックステージツアー

### 専門人材育成プログラム

ホール・劇場や舞台芸術の分野で働くプロのためのブラッシュアップ講座と、これから芸術分野で仕事に就くことをめざす学生へのインターンシッププログラムを3館それぞれの特性をいかして行っています。1年間で13名の学生が学び、仕事を体験するプログラムを修了しました。



KAAT舞台技術講座 2022「劇場がサステナビリティ(持続可能性)を考える～環境に優しい舞台芸術～」イギリス「シアター・グリーン・ブック」を学ぶ～より

### 学校教育へのアプローチ

学校へ芸術家を派遣するプログラムを行っています。先生がプロの芸術家による授業を体験し授業にいかすヒントを得るための「先生のためのアウトリーチ」と、子どもたちへの身体表現のアウトリーチを県央、湘南、県西地区の小学校10校で計20回実施しました。



神奈川県立音楽堂 先生のためのアウトリーチ 打楽器ワークショップ



KAAT 神奈川芸術劇場 身体表現ワークショップ

### 県内の文化施設との連携

親子で楽しむコンサートや、視覚に障がいのある方もともに楽しむプログラムなどを県内の文化施設で開催しています。

### 共生共創事業

「ともに生きる ともに創る」を掲げた共生共創事業（神奈川県受託事業）では、4つのシニアプロジェクトや地域活動支援センター、やまゆり園でのワークショップ、多文化への理解を深めるプロジェクトを実施しています。

